

カラリと気分が良かった5月から、雨の6月へ。
じんわり御時世について考えた。

① 人手不足

トヨタが強くて賃金上昇がこの地域では激しい。医療介護の収入は、国が決めるいわば社会主義なので正直劣勢だ。しかし、現在と将来のスタッフのためにやはり上げていかねばならぬ。同時に不必要な仕事を減らす事でスタッフの「頑張る力」をより効率の良い方向に向かうよう仕事の整理をする必要がある。それによりスタッフの疲労を減らし、ひいては利用者さんに余裕をもって向かえるようでありたい。

定年以降のスタッフの賃金と若いスタッフへの賃金をどう配分するか。全収入に限られる以上、5年後10年後の法人の成長を考えるとやはり後者に重きを置くしかないか。ただしさらに多くの利用者さんに使って頂くことで全収入を増す発想が必要だろう。

② リスキリング

年を重ねるに従い、判断力・記憶力が低下するが、定年以降の能力低下が激しい。その後も働く予定ならば早めのリスキリングの学びが必要だ。というか、人生設計の中で常なるリスキリング=フォーエバースキリングが重要だと思う。企業もその努力と成果を評価し賃金に反映させる仕組み作りが必要だ。高齢でも元気に働ける職場作りが、小さな会社においても要求される時代だ。

③ 貯蓄から投資へ

将来への投資にはやはりお金が必要だ。当院も然り。インフレで物価上昇が続く以上、貯蓄だけでは目減りし夢の実現は遠く。世界の経済成長の助けを借りて、資金を増す仕組みを作っておかねばならぬ。「個人」と異なり「法人」はあまり冒険もできないが、「安全」に重きを置き過ぎると利益が減る。ここ数年間の世界の流れを見て考える必要あり。その為には正しい情報の確保が必須。日々異なる視点の情報源から学ぶ必要あり。医学の勉強に似て結構ストイックに続けなければならぬ作業だ。

④ 定年以降をどう生きるか

私の同年が定年を迎えるが、私自身はまだ当分現役を続けなければならぬ。半分義務で半分は趣味。しかしいずれ「定年」を迎える以上、その準備をしておく必要がある。大きく言えばもらった恩を周りや下の世代に返すということ。抵抗感なく与えられるよう、心と体を変えていきたいと思う。

風薫るこれからという人生に 今橋真理子

皆様も前向きに頑張りましょう！！

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内秀俊

【レクリエーション】



難しいパズルもあっという間に完成です！

【おやつ作り】



皆様と五平餅を作りました。
テキパキと美味しくできました。

【食】



入居者様のご家族から
いただきました。

【住】



気になるホコリを掃除していただき
ています。ありがとうございます。

【求人】

グループホーム ハーブゆいまあるでは、介護職員を募集しています。
変則勤務ができる方歓迎！ 少人数のアットホームな雰囲気職場です。
詳しくはホームページの求人情報をご覧ください。見学・体験もできます
ので、お気軽にご連絡ください。(0569-49-2752 採用担当：小松)